

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	後期	
科目名	教育課程論	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	高木 亜紀	実務経験の有無		○		
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭として多くの幼児や保護者と関わった経験、学童保育指導員として小学生の生活や学習に関わった経験、子育てに関する活動(育児サークル主宰、企業による子どもを対象とした職業体験学習など)をもとに授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	乳幼児保育における長期的な見通し、職員全員の共通認識、計画の重要性や作成方法について理解する。PDCAサイクルについて理解し、自身と園全体の保育の見直しが、保育の質の向上につながることを学ぶ。					
授業概要	保育の長期的見通し、教職員の共通認識、指導計画の重要性と計画の作成法を学ぶ。また、「計画・実践・反省・改善」の関連性についての実例を理解すると共に、保育の省察から子ども理解と保育の見直しについて掘り下げ、一人ひとりに即した保育の実践能力を培う。					
テキスト	田中亨胤他「教育課程論」豊岡短期大学、「幼稚園教育要領解説 平成30年3月 文部科学省」フレーベル館、「保育所保育指針解説 平成30年3月 厚生労働省」フレーベル館、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府・文部科学省・厚生労働省」フレーベル館					
授業計画	第1回	【幼稚園・保育所・認定こども園について】教科書を見て授業内容と幼稚園・保育所・認定こども園の違いについて学びます。				
	第2回	【全体的な計画について】園でいう計画とは何か。なぜ保育をするには計画が必要なのかを学びます。				
	第3回	【教育課程・全体的な計画の編成方法①】教育課程と全体的な計画とは何か。また、それらが、園の中でどのように編成されるのか、手順を学びます。				
	第4回	【教育課程・全体的な計画の編成方法②】手順、形式、記入内容を学びます。				
	第5回	【教育課程・全体的な計画の編成方法③】編成の際の配慮する点を学びます。				
	第6回	【指導計画との関係について】教育課程や全体的な計画は、全ての指導計画のもとになり、職員全員に共通理解を与えるものであることを理解しましょう。				
	第7回	【指導計画の作成方法】指導計画を作成する時は、子どもの実際の活動や経験をイメージしながら、実践に結びつけやすく、無理のないように具体的に作成することを学びます。				
	第8回	【年間指導計画について】年間指導計画とは何かを理解しながら実際に作成してみましょう。				
	第9回	【月間指導計画について】月間指導計画とは何かを理解しながら実際に作成してみましょう。				
	第10回	【週日案について】週日案とは何かを理解しながら実際に作成してみましょう。				
	第11回	【デイリープログラムについて】日案との違いは何かを理解しながら実際に作成してみましょう。				
	第12回	【保育における記録と反省】計画し、実践し、評価反省をすることにより、次の課題が見つかることを学びます。				
	第13回	【保育における評価と改善】計画し、実践し、評価反省をすることにより、次の課題が見つかることを学びます。反省と評価には様々な方法があることも学びます。				
	第14回	【現代の保育ニーズや他国の教育課程について】目まぐるしく変化する社会と子育てについて学びます。また、他国との保育の違いについて学ぶことにより、他国の良さ、私たちの保育の良さを発見することができます。これから生きる保育者として、日本の保育の課題は何かを考えましょう。				
	第15回	【期末試験】				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	教育方法論	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	宮城県小中学校1.5年, 山形県小学校9年, 国立大大学及び大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2年, 私大教員養成学部の教育研究職助手5年						
授業のねらい (到達目標)	実践的指導力を有する教員としての資質を高められるように, 基礎的な知識習得と教育現況をつかめるようにする。						
授業概要	①教育方法の定義と意義 範囲 ②教育方法の歴史 ③教育技術と情報機器活用 ④教育方法の手段(教具と教材) ⑤児童側に立った教育方法の特徴 ⑥授業分析と授業展開 ⑦幼小の接続 ⑧指導計画作成						
テキスト	豊岡短期大学「教育方法論」						
授業計画	第1回	教育方法とは何か					
	第2回	教育方法の歴史					
	第3回	教育方法の手段, 手立て					
	第4回	教育技術(教具・教材・板書)					
	第5回	情報活用機器					
	第6回	幼小の接続					
	第7回	幼小の接続					
	第8回	園児・児童側に立つ教育方法					
	第9回	園児・児童側に立つ教育方法					
	第10回	記録と評価					
	第11回	記録と評価					
	第12回	記録と評価					
	第13回	記録と評価					
	第14回	記録と評価					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)
科目名	保育実習 I	授業形態	実習	単位数	4単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育所、幼稚園、小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実習生の姿勢態度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・園や施設の方針を理解した上で適切に行動する。</li> <li>・目標を明確にし、向上心を持ち、実践的に学びを積むことができる</li> </ul> </li> <li>●知識、技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育内容に合った教材準備や環境構成ができる(部分実習及び責任実習準備の充実)</li> <li>・生活・遊びを促すための援助(かかわり)ができる</li> </ul> </li> <li>●実習記録 <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児とのかかわりから保育士の意図を感じ取り学びや気づきを書くことができる</li> <li>・実習生のかかわりを詳細に記録し、省察することができる。</li> <li>・子どもの姿を場面で捉え、それを「乳幼児理解」につなげることができる。</li> </ul> </li> <li>●指導案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案を書く意味が分かり、指導案を実践につなげることができる。(部分、責任)</li> </ul> </li> <li>●提出物 <ul style="list-style-type: none"> <li>・約束期日を守り、計画的にすすめる。</li> </ul> </li> </ul>				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもとのかかわりを深めながら観察し、保育理念や保育の課程をおさえ、保育士の職務を理解できるようにする</li> <li>●授業等で得た知識や技能を最大限に活かし総合的な実践ができるようにする。</li> </ul>				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づき及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)	
科目名	こどもの指導法「音楽表現」基礎演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	川内菜央・寺内めぐみ	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。					
授業のねらい (到達目標)	音を間違え、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける。					
授業概要	こどもの指導法「音楽表現」基礎演習Ⅰで身に付けた演奏技術を更に向上させる。また、保育実習や幼稚園での教育実習に向けて実践的な取り組みを行う。					
テキスト	「こどもの指導法『音楽表現』」「ブルクミュラー25の練習曲」「保育の四季 幼児の歌110曲集」					
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第8回	中間試験				
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)	
科目名	こどもの指導法「音楽表現」基礎演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	川内菜央・寺内めぐみ	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。					
授業のねらい (到達目標)	音を間違え、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける。					
授業概要	こどもの指導法「音楽表現」基礎演習Ⅰで身に付けた演奏技術を更に向上させる。また、保育実習や幼稚園での教育実習に向けて実践的な取り組みを行う。					
テキスト	「こどもの指導法『音楽表現』」「ブルクミュラー25の練習曲」「保育の四季 幼児の歌110曲集」					
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第8回	中間試験				
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	後期									
科目名	社会的養護Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1単位									
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○										
実務経験教員の経歴	児童養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について実践的な指導を行う。													
授業のねらい (到達目標)	「社会的養護Ⅰ」で学んだ社会的養護の基礎的内容について具体的に理解する。 施設養護及び家庭養護の実際について理解する。 社会的養護における虐待防止と家庭支援について理解する。													
授業概要	スクーリングによる体験的な授業で、主としてコミュニケーション力、リーダーシップなど必要な技術とネットワーク運営のための技術を身につける。													
テキスト														
授業計画	第1回	オリエンテーション												
	第2回	子どもの最善の利益、意見表明権、子どもの権利を守る仕組み(演習)												
	第3回	資質と倫理(演習)												
	第4回	施設養護の体系												
	第5回	児童養護施設(演習)												
	第6回	乳児院(演習)												
	第7回	母子生活支援施設(演習)												
	第8回	障害児入所施設(演習)												
	第9回	児童自立支援施設(演習)												
	第10回	児童心理治療施設(演習)												
	第11回	家庭養護・家庭的養護の体系												
	第12回	里親(演習)												
	第13回	地域小規模児童養護施設(演習)												
	第14回	社会的養護の現状と課題												
	第15回	まとめ												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	こどもの食と栄養	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	萱場 佳代	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	企業での調乳・離乳食指導、特定保健指導、母親教室、料理教室講師 新潟市 母子保健事業、特定保健指導、学校等での出張授業講師 他						
授業のねらい (到達目標)	子どもの身体の特徴を理解し、小児期に必要な栄養・食生活の重要性と、それぞれの時期に応じた食事の知識を習得し、食育につなげていけるものとする。						
授業概要	基本的な栄養・食生活の知識を学ぶ。 離乳食から幼児期への子どもの発育発達と、それぞれの時期に応じた栄養補給、食事の知識を学ぶ。 食育の重要性を学び、子どもたちへの伝えかたを考える。 実際に調整粉乳、離乳食、幼児食の調理を行い、形態や味を確認する。 乳幼児期における食物アレルギーについて学ぶ。						
テキスト	「こどもの食と栄養」豊岡短期大学						
授業計画	第1回	栄養に関する基礎知識(五大栄養素の体内での働き)					
	第2回	ビタミン・ミネラルの種類・働き・食品					
	第3回	母乳栄養(初乳・長所・短所・母乳不足)					
	第4回	人工栄養(調整粉乳・フォローアップミルク・特殊ミルク)					
	第5回	離乳の定義、離乳食の進め方と注意点					
	第6回	幼児期の栄養・食生活					
	第7回	間食の必要性と与え方					
	第8回	幼児期の栄養・食生活上の問題と対応					
	第9回	乳幼児期の食物アレルギー					
	第10回	食育の必要性(ねらいと内容)					
	第11回	食育の実践					
	第12回	実習(調乳・離乳食の調理)					
	第13回	実習(幼児食の調理)					
	第14回	実習(間食の調理)					
	第15回	まとめ 期末試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	環境論	授業形態	講義	単位数	1単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 領域「環境」のねらいと内容を理解する。 2. 子どもを取り巻く様々な環境を理解し、関心を持つ。 3. 「環境を通して行う教育」を理解し、意図ある環境構成の実践を行う。						
授業概要	現在の子どもを取り巻く環境の変化について学びながら、保育に必要な基礎専門知識を得る。 子どもが発育・発達における環境とのかかわりの重要性を学びながら、保育の環境や環境構成のあり方について理解し、校外学習を通して環境構成の実践を行う。						
テキスト	新保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る 環境						
授業計画	第1回	環境とは何か？ 環境の定義 子どもを取り巻く環境の変化を知る					
	第2回	身近な環境について考える①少子化					
	第3回	身近な環境について考える②メディア					
	第4回	領域「環境」の理解 環境を通して行う保育 教師の願いを込める					
	第5回	環境の構成 校外学習計画①					
	第6回	校外学習①地域探検					
	第7回	環境の構成 校外学習計画②					
	第8回	環境の構成 校外学習計画②					
	第9回	環境の構成 校外学習計画②					
	第10回	校外学習②					
	第11回	校外学習②					
	第12回	校外学習②					
	第13回	校外学習②					
	第14回	まとめ・振り返り①					
	第15回	まとめ・振り返り②					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席  平常評価：課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							



# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	こどもの指導法「環境」	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 領域「環境」のねらいと内容を理解する。 2. 子どもを取り巻く様々な環境を理解し、関心を持つ。 3. 保育者の役割を常に考え、保育実践力を身につける。						
授業概要	現在の子どもを取り巻く環境の変化について学びながら、保育に必要な基礎専門知識を得る。 子どもが発育・発達における環境とのかかわりの重要性を学びながら、保育の環境や環境構成のあり方について理解する。						
テキスト	新保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る 環境						
授業計画	第1回	環境とは何か？ 環境の定義					
	第2回	環境とは何か？ 子どもを取り巻く環境の変化を知る					
	第3回	領域「環境」の理解 ねらいと内容					
	第4回	領域「環境」の理解 環境を通して行う保育					
	第5回	環境の構成 教師の願いを込める					
	第6回	環境の構成 身近な環境の構成					
	第7回	環境の構成 季節や地域の行事					
	第8回	環境の構成 好奇心・探究心を育てる環境					
	第9回	園での実際の環境構成(映像学習)①					
	第10回	園での実際の環境構成(映像学習)②					
	第11回	園での実際の環境構成(映像学習)③					
	第12回	保育者の存在 人的環境の重要性					
	第13回	標識・文字、数量・図形との出会い					
	第14回	ねらいを達成するための環境構成の工夫(校外学習計画)					
	第15回	校外学習					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	こどもの指導法「言語表現」	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 保育内容の領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。 2. 保育現場における児童文化財の重要性を考え理解し、保育士・幼稚園教諭に求められる専門知識技術・言語表現力を高める。 3. 幼児の発達や学びの過程を理解するとともに、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した模擬保育の実施とその振り返りを通して、保育を実践する力を身に付ける。						
授業概要	自己紹介絵本制作を通して、児童文化財への理解を深めると共に、制作技術の向上を図る。絵本の読み聞かせを通して、自身の保育観に沿った絵本選びを行い、実践的な技術を習得する。以上2点を通して、保育観の醸成、自己分析を行う。						
テキスト	ことばと表現力を育む児童文化〈第2版〉 萌文書林						
授業計画	第1回	授業の目的と概要 領域「言葉」の内容の確認					
	第2回	子どもの言葉を育むさまざまな児童文化財 様々な絵本の種類 子どもの発達に合わせた絵本の選び方					
	第3回	ことばの発達と遊び いろいろなことば遊び					
	第4回	図書館での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第5回	図書館での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第6回	図書館での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第7回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第8回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第9回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第10回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第11回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第12回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第13回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第14回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第15回	まとめ 児童文化財を生かしたさまざまな保育実践 児童文化財を生かした保育の展開					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席  平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)	
科目名	実習指導ⅡⅢ	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	笠井多佳子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	公立園での勤務経験から現場に求められる保育者像について実践的な指導を行う。					
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に向けての基本的な心構えを理解したり、施設について理解する。</li> <li>・日誌の書き方、指導案の立て方を確認して自分なりに立てる。</li> <li>・実習の振り返りをして課題や反省点をみつけ次に繋げる。</li> <li>・見通しをもち場面に対応して動く力や子ども達の前で演じる(伝える)力を身につける。</li> </ul>					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。</li> <li>・振り返りを行い、反省 課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。</li> <li>・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める。</li> </ul>					
テキスト	外部実習マニュアル・パーフェクトガイド(施設実習、保育実習・幼稚園子ども園実習)・前年度配布プリント等					
授業計画	第1回	ファイルの綴じ方や表紙の書き方を確認する				
	第2回	実習日誌の書き方確認				
	第3回	実習日誌の書き方確認				
	第4回	こどもっと実習準備①				
	第5回	こどもっと実習準備②				
	第6回	こどもっと実習準備③				
	第7回	こどもっと実習準備④ 保育所実習の準備をする				
	第8回	こどもっと実習の振り返りをする 保育所実習の準備をする①				
	第9回	保育所実習の準備をする② オリエンテーションについて				
	第10回	保育所実習の準備をする③ 実習ファイルについて				
	第11回	保育所実習の準備をする③ 実習ファイルについて				
	第12回	保育所実習の準備をする④				
	第13回	保育所実習の準備をする⑤				
	第14回	保育所実習の振り返りをする 施設実習のめあてを立てる				
	第15回	施設実習の準備をする①福祉施設の実習の意義を考える				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)
科目名	実習指導ⅡⅢ	授業形態	演習	単位数	1単位
担当教員	笠井多佳子	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	公立園での勤務経験から現場に求められる保育者像について実践的な指導を」行う				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に向けての基本的な心構えを理解したり、幼稚園実習について理解する。</li> <li>・日誌の書き方、指導案の立て方を確認し、多方面から「活動」を考える。</li> <li>・実習の振り返りをその都度行い、課題や反省点を明確にし次の実習に繋げる。</li> <li>・見通しをもち、臨機応変に動く力や子ども達の前で演じる(伝える)力を身につける。</li> </ul>				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。</li> <li>・振り返りを行い、反省 課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。</li> <li>・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める。</li> </ul>				
テキスト	外部実習マニュアル・パーフェクトガイド(施設実習、保育実習・幼稚園こども園実習)・前年度配布プリント等				
授業計画	第1回	保育実習Ⅰの振り返りをする			
	第2回	保育実習Ⅰの振り返りをする			
	第3回	保育所実習のエピソードをまとめ、次の実習の課題を明確にする			
	第4回	保育所実習のエピソードをまとめ、次の実習の課題を明確にする			
	第5回	事例検討①			
	第6回	事例検討②			
	第7回	施設実習の準備	実習記録について考える①		
	第8回	施設実習の準備	実習記録について考える②		
	第9回	施設実習の準備	実習記録について考える③		
	第10回	施設実習の準備	指導案の立て方④		
	第11回	施設実習の準備	指導案の立て方⑤		
	第12回	保育実習Ⅰ(施設実習)の振り返りをする。			
	第13回	責任実習の立て方について			
	第14回	責任実習の立て方について			
	第15回	責任実習の立て方について			
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)		
科目名	情報処理Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、名簿の作成ほか表作成からデータベースの処理が必要となるデータを作成する際に、Excelの知識と技術が必要となる。本教科では、Excelを基礎から学習し活用できる能力を身につける。						
授業概要	Excel2019を用いて表の作成、データベース機能、種々の関数を用いた計算、各種グラフの作成など、基礎知識と活用方法を習得し、技術向上を図る。 MOS Excel2019 検定合格を目指す。						
テキスト	Excel2019セミナーテキスト基礎・Excel2019対策テキスト&問題集						
授業計画	第1回	本演習のガイダンス、ネットワーク接続、プリンタ設定 Excelの基本操作					
	第2回	表の作成					
	第3回	四則演算と関数1					
	第4回	四則演算と関数2					
	第5回	表の編集1					
	第6回	表の編集2					
	第7回	基礎まとめと復習					
	第8回	ワークシートやブックの作成と管理1					
	第9回	ワークシートやブックの作成と管理2					
	第10回	ワークシートやブックの作成と管理3					
	第11回	セルやセル範囲のデータ管理1					
	第12回	セルやセル範囲のデータ管理2					
	第13回	数式や関数を使用した演算の実行1					
	第14回	数式や関数を使用した演算の実行2					
	第15回	数式や関数を使用した演算の実行3					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)	
科目名	情報処理Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。					
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、名簿の作成ほか表作成からデータベースの処理が必要となるデータを作成する際に、Excelの知識と技術が必要となる。本教科では、Excelを基礎から学習し活用できる能力を身につける。					
授業概要	Excel2019を用いて表の作成、データベース機能、種々の関数を用いた計算、各種グラフの作成など、基礎知識と活用方法を習得し、技術向上を図る。 MOS Excel2019 検定合格を目指す。					
テキスト	Excel2019セミナーテキスト基礎・Excel2019対策テキスト&問題集					
授業計画	第1回	グラフやオブジェクトの作成1				
	第2回	グラフやオブジェクトの作成2				
	第3回	模擬1(演習)				
	第4回	模擬1(演習)				
	第5回	模擬1(テスト)				
	第6回	模擬2(演習)				
	第7回	模擬2(テスト)				
	第8回	模擬3(演習)				
	第9回	模擬3(テスト)				
	第10回	模擬4(演習)				
	第11回	模擬4(テスト)				
	第12回	模擬5(演習)				
	第13回	模擬5(テスト)				
	第14回	実力判定(演習)				
	第15回	実力判定(テスト)				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)		
科目名	教材研究Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	円山昭子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立保育園35年6か月の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業を行						
授業のねらい (到達目標)	素材の活かし方・制作手順の要領を良くする方法など、学び合いながら習得していく 実際に子どもたちとする時の配慮点などを考えながら、製作技術やあそびの習得を目指す						
授業概要	素材の活かし方・制作手順の要領を良くする方法など、実際にやりながら学び合う 様々な科学あそび・自然関連について、体験したりスライドで見たりして考える 年齢別の対象を配慮しながら、丁寧にグッズを作ったり演じたりして見せ合う 実習に備え、あそびのネタ帳や使える手あそびを充実させていく						
テキスト	「基本の遊びと広げ方」「すきま時間あそび107」&必要に応じてプリント						
授業計画	第1回	校外学習(東公園) 春を感じる・シャボン玉あそびをする					
	第2回	シャボン玉あそびと自然保育についての事後授業					
	第3回	前年度に完成させたパネルシアターの発表と改善点の出し合い					
	第4回	制作の教材研究 様々な素材や制作の裏技について理解を深めるとともに、子どもたちと制作をする時の留意点などを確認する 例:同じ形を沢山作る時の工夫など					
	第5回	手袋シアター制作					
	第6回	〃					
	第7回	仕上げと発表					
	第8回	乳児・幼児年齢別グッズ制作 作りたいものを考えて作る (カードシアター、スケッチブック、ペープサートなど題材自由)					
	第9回	グッズ制作(自己紹介を含む)					
	第10回	〃					
	第11回	〃					
	第12回	完成したものを実演し合う 手あそびやポケットネタ帳の確認し合い					
	第13回	テキスト「すきま時間あそび107」より素話他					
	第14回	〃					
	第15回	施設実習について					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)		
科目名	教材研究Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	円山昭子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立保育園35年6か月の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業を行						
授業のねらい (到達目標)	様々な保育教材への理解を深める 子どもたちと楽しむために必要な技術を学び合う						
授業概要	あそび歌・科学あそび・伝承遊びグッズ制作など、色々な子どもとの遊びについて学ぶ 実際に子ども達と遊ぶ為の方法や配慮について年齢別に考えたり実践して見せ合ったりする						
テキスト	「基本の遊びと広げ方」「すきま時間あそび107」&必要に応じてプリント						
授業計画	第1回	小麦粉粘土・スライム・科学あそび系を順次学ぶ 実際にやってみる中で配慮点など見つけていく					
	第2回	〃					
	第3回	保育グッズを作ったり使う際の練習をし、見せ合う					
	第4回	〃					
	第5回	〃					
	第6回	体操やダンスの振付をイラストで見て覚え、グループで練習をしマスターする					
	第7回	子どもたちへの教え方も考え、他グループに実際に教えて一緒にやってみる					
	第8回	作りたいパペットを決め パペット人形制作開始					
	第9回	制作					
	第10回	〃					
	第11回	完成したパペットでミニ人形劇					
	第12回	クリスマス関連のあそびとグッズ制作					
	第13回	伝承遊び(あやとり・こま・凧揚げ・お手玉・けん玉)					
	第14回	毛糸系など、子どもも出来る冬の制作					
	第15回	〃					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						



# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)		
科目名	リトミック	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導28年						
授業のねらい (到達目標)	「幼稚園・保育園のためのリトミック2級指導資格」を取得することをねらいとする。						
授業概要	「幼稚園・保育園のための2級指導資格」を取得することをねらいとし、そのためのリズム、ティーチング、リズムの演奏法を修得する。						
テキスト	「幼稚園、保育園のためのリトミック 3歳児用」 「幼稚園、保育園のための4歳児用」 「幼稚園、保育園のためのリトミック 5歳児用」						
授業計画	第1回	リトミックについて 楽しいリトミックの経験					
	第2回	楽しいリトミックの経験 強弱・テンポ・空間・アクセント					
	第3回	基礎リズム 基礎リズムパターンの理解と指導上の留意点					
	第4回	3歳児指導法-1学期 リズムの演奏法(3歳児指導法-1学期)					
	第5回	楽しいリトミックの経験 基礎的な動き					
	第6回	基礎リズム(2拍子) 拍子					
	第7回	3歳児指導法-2学期 リズムの演奏法(3歳児指導法-2学期)					
	第8回	楽しいリトミックの経験 基礎リズム(2拍子)					
	第9回	拍子 ティターティ・ターイティを含む					
	第10回	3歳児指導法-3学期 リズムの演奏法-3学期					
	第11回	楽しいリトミックの経験 基礎リズム(3・4拍子)					
	第12回	拍子 楽しいリトミックの経験					
	第13回	リズムカノン導入 リズムフレーズ2・3拍子					
	第14回	リズムの演奏法(3歳児指導法-1~3学期) リトミックの理論とダルクルーズについて					
	第15回	2級 資格認定試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)		
科目名	リトミック	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導28年						
授業のねらい (到達目標)	「幼稚園・保育園のためのリトミック2級指導資格」を取得することをねらいとする。						
授業概要	「幼稚園・保育園のための2級指導資格」を取得することをねらいとし、そのためのリズム、ティーチング、リズムの演奏法を修得する。						
テキスト	「幼稚園、保育園のためのリトミック 3歳児用」 「幼稚園、保育園のための4歳児用」 「幼稚園、保育園のためのリトミック 5歳児用」						
授業計画	第1回	リズム ティーチング					
	第2回	リズムの演奏法 理論					
	第3回	4歳児指導法-1学期 4歳児指導法-2学期					
	第4回	楽しいリトミックの経験 リズムカノン3拍子					
	第5回	リズムフレーズ2・3拍子 リズムの演奏法(4歳児指導法-1~2学期)					
	第6回	4歳児指導法-3学期 5歳児指導法-1学期					
	第7回	楽しいリトミックの経験 リズムカノン3・4拍子					
	第8回	複リズム(Ostinatoター) リズムの演奏法(4歳児指導法-3学期)					
	第9回	リズムの演奏法(5歳児指導法-1学期) 5歳児指導法-2学期					
	第10回	5歳児指導法-3学期 楽しいリトミックの経験					
	第11回	リズムカノン3・4拍子 複リズム(Ostinatoター)					
	第12回	リズムの演奏法(5歳児指導法-2~3学期) 楽しいリトミックの経験					
	第13回	リズムカノン3・4拍子 複リズム(Ostinatoター)					
	第14回	リズムカノン3・4拍子 複リズム(Ostinatoター) リトミックの理論とダルクローズについて					
	第15回	1級 資格認定試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						